

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者： ( A組：佐藤恭江 ( B組：佐藤恭江 ( C組：佐藤恭江 ( D組：佐藤恭江 ( E組：佐藤恭江 ( F組：佐藤恭江

使用教科書： ( 実教出版 )

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについての理解を深めるようにする

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付ける。	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けている。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に起用しようとする態度を身に付けていること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	情報の表し方 コンピュータでのデジタル表現 情報とメディアの特性 表現メディアの違いによるメリット とデメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの起動や終了方法、OSの基本操作の練習を行う。</li> <li>ファイルの保存、読み込み、共有フォルダの利用等について説明する。</li> <li>コンピュータ教室でのマナーを理解する。</li> <li>情報の特性から、情報とは何か理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の特性から、情報とは何か理解できる。[知]</li> <li>情報やメディアの特性を理解できる。[知]</li> <li>各メディアのメリット、デメリットが判断できる。[思]</li> </ul>	○	○	○	8
	コンピュータとは何か コンピュータが入っている製品 ソフトウェアの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの基本構成について理解する。</li> <li>ハードウェアとソフトウェアについて理解する。</li> <li>プログラムの動作の仕組みについて学習する。</li> <li>コンピュータの演算の仕方について学習する。学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの基本構成を理解できる。[知]</li> <li>基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの役割を理解できる。[知]</li> <li>CPUでのプログラムの実行の仕組みを理解できる。[知]</li> <li>コンピュータの演算の方法とその限界を理解できる。[知]</li> </ul>	○	○	○	8
	デジタルの世界へ アナログ表示とデジタル表示の比較 数値と文字のデジタル表現 音と画像のデジタル表現 色と動画のデジタル表現 目的に応じたデジタル化 スマートフォンの画像や音声の圧縮 形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人1台端末の活用</li> <li>デジタルデータとは何か学習する。</li> <li>デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。</li> <li>2進法と情報の単位について学習する。</li> <li>文字のデジタル表現について学習する。</li> <li>音、画像、動画のデジタル化について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2進法、10進法、16進法の仕組みが理解できる。[知]</li> <li>文字コードが理解できる。[知]</li> <li>デジタル化の標本化、量子化、符号化が理解できる。[知]</li> <li>光と色の三原色を理解できる。[知]</li> <li>動画の仕組みが理解できる。[知]</li> <li>画像や音声の圧縮形式を理解できる。[知]</li> <li>画像や音声の圧縮形式は何であるか判断できる。[思]</li> </ul>	○	○	○	8
定期考査				○	○		1
2 学 期	文書処理ソフトウェアの操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>文書処理ソフトウェアについて、書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。</li> <li>文書処理ソフトウェアで図、表、画像を利用する方法を学習する。</li> <li>ディレクトリやファイルの操作について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文書処理ソフトウェアの基本操作が身についている。[知]</li> <li>文書処理ソフトウェアで図、表、画像を利用する方法が身についている。[知]</li> <li>ディレクトリやファイル操作の方法が身についている。[知]</li> <li>文書処理ソフトウェアの操作の考え方から、さまざまな処理の方法を考えることができる。[思]</li> </ul>	○	○	○	8
	表計算ソフトウェアの操作 ネットワークとインターネット インターネットの今後の利用 インターネットの仕組み 学校のコンピュータのIPアドレス サーバとクライアント	<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトウェアの書式の設定や配置の変更など、基本的な操作。情報通信ネットワークとは何か学習する。LANとWANの違い。</li> <li>プロトコルとその1つとしてTCP/IPについて学習する。ネットワークを構成するハードウェアについて学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトウェアの基本操作が身についている。[知]</li> <li>表計算ソフトウェアで数式や関数を利用する方法が身についている。[知]</li> <li>ディレクトリやファイルの操作の方法が身についている。[知]</li> <li>表計算ソフトウェアの操作の考え方から、いろいろな処理の方法を考えることができる。[思]</li> </ul>	○	○	○	8
	ネットワークとインターネット インターネットの今後の利用 インターネットの仕組み 学校のコンピュータのIPアドレス サーバとクライアント アルゴリズムの表現 (問題)通学方法の判断 プログラムの基本構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信ネットワークとは何か学習する。LANとWANの違いを学習する。</li> <li>プロトコルとその1つとしてTCP/IPについて。ネットワークを構成するハードウェアについて学習する。</li> <li>サーバの役割について学習する。</li> <li>インターネットでのIPアドレスと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットとはどのようなものが理解できる。LANとWANの違いを理解できる。[知]</li> <li>プロトコルと、その1つであるTCP/IPを理解できる。[知]</li> <li>ルータとハブの役割を理解できる。[知]</li> <li>IPアドレスの調べ方が身についている。[知]</li> <li>サーバとクライアントの役割を理解できる。[知]</li> <li>DNSの役割と動作の仕組みを理解できる。</li> </ul>	○	○	○	8
定期考査				○	○		1
3 学 期	プレゼンテーションソフトウェアの操作	プレゼンテーションソフトウェアの操作 課題の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報デザインの一連の作業の流れを理解できる。[知]</li> <li>目的を持って情報を表現できる。[思]</li> <li>作成する際の分担・工程を管理できる。[思]</li> <li>粘り強く、情報デザインの手法を利用して、作品を作ろうとしている。[主]</li> </ul>	○	○	○	6
	プレゼンテーションソフトウェアの操作	プレゼンテーションソフトウェアの操作 課題の制作 プレゼン発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報デザインの一連の作業の流れを理解できる。[知]</li> <li>目的を持って情報を表現できる。[思]</li> <li>作成する際の分担・工程を管理できる。[思]</li> <li>粘り強く、情報デザインの手法を利用して</li> </ul>	○	○	○	4

			・和ヲ強ク、得報ツツイレノナ広ヲ利用シテ、 作品を作ろうとしている。[主]	○	○	○	合計
							60

東京都立八潮高等学校 令和5年度  
 教科:情報 科目:表現メディアの編集と表現 年間授業計画

教科:情報 科目:表現メディアの編集と表現 単位数: 2単位

対象学年組: 第1学年A組~F組

教科担当者: (A~F組の選択生徒)

使用教科書: (「表現メディアの編集と表現」(実教出版))

使用教材: (パソコン検定協会: (活用テキスト、活用テキスト(実技・実習編)、学習ノート))

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション 社会と情報(一年次での学習の振り返り)	社会と情報(一年次での学習の振り返り) パソコン検定4級:練習問題の実施 ・アプリケーションで作成したファイルを保存したり,保存したファイルを読み込んだりすることができる。また,ファイルを共有フォルダに保存することもできる。	教科書・(活用テキスト、活用テキスト(実技・実習編)、学習ノート)・コンピュータ	2
	情報社会の現状について理解する。 社会と情報(一年次での学習の振り返り)	・情報社会の現状についてインターネットなどで調べる。 ・情報化が進化する社会の特質について。 ・ビッグデータの活用例。	教科書・(活用テキスト、活用テキスト(実技・実習編)、学習ノート)・コンピュータ	2
	インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について。	・適切かつ効果的にコミュニケーションを図るために,情報メディアを適切に選択することができる。 ・自らのメディア活用について振り返り,より効果的な表現や情報伝達ができる。	教科書・(活用テキスト、活用テキスト(実技・実習編)、学習ノート)・コンピュータ	2
5月	SNS利用上の注意(ワークシートによる) ドット文字作成	普通教室にてワークシートによるSNS利用上の注意点について思考および深化をする 普通教室にてワークシートによりドット文字を作成し,ピクセル及びドットを理解する	教科書・(活用テキスト、活用テキスト(実技・実習編)、学習ノート)・コンピュータ	2
	座学・実技 文字による表現 音声による表現	コンピュータの構造を理解する。 アナログとデジタルの違いを理解する。	教科書・(活用テキスト、活用テキスト(実技・実習編)、学習ノート)・コンピュータ	2
	座学・実技 文字による表現 音声による表現	イラスト作成ソフトウェアによる作図ができる 画像編集ソフトウェアにより画像加工を理解する	教科書・(活用テキスト、活用テキスト(実技・実習編)、学習ノート)・コンピュータ	2
6月	座学・実技 画像のデジタル表現 動画のデジタル表現	画像や動画のデジタル表現を理解する 表計算ソフトの基本操作ができる	教科書・(活用テキスト、活用テキスト(実技・実習編)、学習ノート)・コンピュータ	2
	座学・実技 画像のデジタル表現 動画のデジタル表現	画像や動画のデジタル表現を理解する 表計算ソフトの基本操作ができる	教科書・(活用テキスト、活用テキスト(実技・実習編)、学習ノート)・コンピュータ	2
	座学・実技 画像のデジタル表現 動画のデジタル表現	画像や動画のデジタル表現を理解する 表計算ソフトの基本操作ができる	教科書・(活用テキスト、活用テキスト(実技・実習編)、学習ノート)・コンピュータ  教科書・(活用テキスト、活用テキスト(実技・実習編)、学習ノート)・コンピュータ	2  2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	座学・実技 情報の表現と伝達 表計算ソフト・プログラミングの基礎	画像や動画、音について理解を深め、応用操作ができる 表計算ソフトのプログラミングについて理解できる	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2
	座学・実技 情報の表現と伝達 表計算ソフト・プログラミングの基礎	画像や動画、音について理解を深め、応用操作ができる 表計算ソフトのプログラミングについて理解できる	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2
	座学・実技 情報の表現と伝達 表計算ソフト・プログラミングの基礎	画像や動画、音について理解を深め、応用操作ができる 表計算ソフトのプログラミングについて理解できる	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2
10月	座学・実技 情報の表現と伝達 表計算ソフト・プログラミングの基礎	メディアの特性を理解し、表現伝達ができる。 表計算ソフトのプログラミングの構造化について理解できる	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2
	座学・実技 情報の表現と伝達 表計算ソフト・プログラミングの基礎	状況に応じたコミュニケーションを理解し、表現できる。 画像表現の特性を理解し、画像を作成できる。 表計算ソフトのプログラミングの構造化について理解できる	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2
	座学・実技 情報の表現と伝達 表計算ソフト・プログラミングの基礎	状況に応じたコミュニケーションを理解し、表現できる。 画像表現の特性を理解し、画像を作成できる。 表計算ソフトのプログラミングの構造化について理解できる	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2
11月	情報デザイン	社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 ・効果的なコミュニケーションや問題解決のために、主体的に情報を整理し たり、わかりやすく伝達したり、操作性を高めたりする。	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2
	情報デザイン	情報を正確に、わかりやすく伝える方法について理解する。 ・情報をわかりやすく伝達するための文字や図の表現の工夫、表やグラフ、配色の工 夫など基本的な方法。	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2
	プレゼンテーションの手順とスライド作成 について理解する。	・プレゼンテーションの企画、準備、実施、評価・改善など、プレゼンテーションの流れ について。 ・情報をわかりやすく伝達するために、文字や図、表やグラフなどを工夫して表現する	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2
12月	座学・実技 プレゼンテーション	・プレゼンテーションの企画、準備、実施、評価・改善など、プレゼンテー ションの流れについて。 ・情報をわかりやすく伝達するために、文字や図、表やグラフなどを工夫し て表現する	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2
	座学・実技 プレゼンテーション	・実際にプレゼンテーションのためのスライドなどの資料をコンピュータで作成する。	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2
	座学・実技 プレゼンテーション	・プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し、適切かつ効果 的にプレゼンテーションを行えるようにする。	教科書・（活用テキスト、 活用テキスト（実技・実習 編）、学習ノート）・コン ピュータ	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	実技 プレゼンテーション	・説得力のあるプレゼンテーションを行うため、スライドの作成やリハーサルに取り組み、フィードバックを行いながら、よりよいプレゼンテーションになるよう粘り強く準備を進める。	教科書・（活用テキスト、活用テキスト（実技・実習編）、学習ノート）・コンピュータ	2
	実技 プレゼンテーション	各自で調べたことについて発表し、評価し合う。	教科書・（活用テキスト、活用テキスト（実技・実習編）、学習ノート）・コンピュータ	2
2 月				
3 月				